

令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 68

千葉県立関宿高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のいずれかに該当する生徒

- ア 学業や学校行事、生徒会活動に積極的に参加する意欲を持っている。
- イ 入学後も部活動に積極的に参加する意欲を持っている。

2 選抜の資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名10分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔320点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=2$ を乗じた数値で評価する。 未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録、部活動等の記録 特記事項	(ア)「生徒会役員」、「委員会委員長」、「学級委員長」、「部活動を3年間継続」、「県大会出場」など、積極的に取り組んだと認められる記載については加点する。 (イ)漢字検定、英語検定、数学検定について、4級以上の場合、その級に応じて加点する。 (ウ)柔剣道等初段以上は加点する。

(3) 学校設定検査（面接）〔80点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを10点、bを5点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各40点満点）を合計し、得点化する。

評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 入学の意欲	入学意欲が感じられる。
イ 応答の内容	質問に対する応答が適切である。
ウ 言葉遣い	言葉遣いが適切である。
エ 服装・身だしなみ・態度	服装、身だしなみ、態度が適正である。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=2）	加点	面接	
500点	270点	50点	80点	900点

(2) その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途、個人面談を行う。

令和8年度 連携型高等学校の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 68

千葉県立関宿高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	国語・数学・英語の3教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名10分
(4) 志願理由証明書	実施要項(様式3の(2))により、志願者の直筆による「志願理由等」を連携する中学校の校長が証明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [300点満点]

評価項目	評価基準
3教科の得点合計	3教科(各教科100点満点)の合計300点満点で評価する。

(2) 調査書 [135点満点]

評価項目	評価基準
教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。

(3) 面接

A、B、Cの3段階で評価をする。2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、○(標準的である)・△(問題がある)の2段階で評価する。各面接官は、○が3つ以上で特に問題がなければ評価 a、それ以外を評価 bとする。

評価Cについては審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 入学の意欲	入学意欲が感じられる。
イ 応答の内容	質問に対する応答が適切である。
ウ 言葉遣い	言葉遣いが適切である。
エ 服装・身だしなみ・態度	服装、身だしなみ、態度が適正である。

評価者2名の評価を基に以下のように判定する。

評価A : 2名の評価がともにaのとき

評価B : 2名の評価がaとbのとき

評価C : 2名の評価がともにbのとき

(4) 志願理由証明書

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、○(標準的である)・△(問題がある)の2段階で評価する。各評価者は、○が2つ以上であれば評価 a、○が1つ以下ならば評価 bとする。

評価項目	評価基準
ア 志願する動機・理由	志願する動機・理由が明確に記載されている。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標が具体的に記載されている。
ウ 表現	漢字が適切に使用されており、自分の考えが明瞭に表現されている。

評価者2名の評価を基に以下のように判定する。評価がBの場合は、審議対象とする。

評価A : 2名の評価がともにaのとき

評価B : 2名の評価がaとb、または、ともにbのとき

3 選抜方法

- (1) 「学力検査の得点」と「調査書の得点」の得点合計によって順位をつけたとき、募集人員以内の者を評価Aとする。
- (2) (1)で評価Aであった者で、「志願理由証明書」、「面接」の評価がともにAである者をA組としこの者は入学許可候補者とする。
- (3) A組に属さない者をB組とし、この者については、「面接」の評価を重視するとともに、「学力検査の得点」、「調査書の得点」、「志願理由証明書」等を資料として総合的に判定する。
- (4) 判定の資料として、連携型中高一貫教育の趣旨に沿った日常的な情報交換の記録等を加えることができる。

令和8年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 68

千葉県立関宿高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名10分程
(3) 作文	字数400字以上500字以内 検査時間：45分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
教科の学習の記録	調査書の評定の全学年の合計値で評価する。 未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 面接〔80点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを10点、bを5点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各40点満点）を合計し、得点化する。

評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 入学の意欲	入学意欲が感じられる。
イ 応答の内容	質問に対する応答が適切である。
ウ 言葉遣い	言葉遣いが適切である。
エ 服装・身だしなみ・態度	服装、身だしなみ、態度が適正である。

(3) 作文〔60点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを10点、bを5点、cを2点とし、2名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 内容	出題されたテーマに沿って自分の考えを示している。
イ 表現	漢字、句読点等が適切に使用されている。
ウ 分量	文字数が適切である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」、「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点 (評定)	面接	作文	総得点
135点	80点	60点	275点

(2) その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

4 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途、個人面談を行う。